

国土交通省が発注し東亜建設工業(株)が過去10年間に施工した薬液注入工事のうち、不正による施工不良が確認された5件の空港工事を除く22件の工事に係るチェックボーリングの評価方法

■ 一軸圧縮試験により評価することを基本とする。一軸圧縮試験が、礫分の混入等により適切に実施出来なかった場合には、代替的な試験として、原則として、孔内水平載荷試験で評価する。

① 一軸圧縮試験

- 一軸圧縮強度が設計強度を上回り、シリカ含有量試験によりシリカ分の増加が確認されることで評価。

② 孔内水平載荷試験

(礫分混入等により一軸圧縮試験が適切に実施出来なかったと考えられる場合)

- 推定される一軸圧縮強度が設計強度を上回り、シリカ含有量試験によりシリカ分の増加が確認されることで評価。
- なお、運用中の空港については、孔内水平載荷試験が困難な場合には、シリカ含有量試験から推定される一軸圧縮強度が設計強度を上回ることで評価。

